



Lis Blanc

(リス・ブラン)——フランス語で「白百合」

No.83 学報リス・ブラン(白百合)

発行／仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本町6番1号
TEL 022-372-3254 URL <https://sendai-shirayuri.ac.jp>

(転用・転載を禁じます) 編集／大学広報室

本号の主な内容

- 01 巻頭言
- 02 座談会
- 04 白百合祭報告
- 05 留学報告
- 06 各種報告
- 07 財務報告／寄付金のお願い
- 08 2023年度 仙台白百合女子大学 学生募集について



希望をもって生きる

カトリック研究所所長
加藤 美紀

ある歴史学者によれば、歴史に名を刻み、世界をよりよい方向に変えた人たちには一つの共通点があるといえます。歴史は必ずしも能力の高い人、リーダーシップのある人、お金や権力をもっている人、容姿が優れていたり人に好かれたりする人によってつくられるものではありません。よりよい世界をつくる人の共通点は「希望をもって生きる人」なのです。誰もが樂觀でいるような明るい見通しではなく、先行き不透明な暗がりの中で、周りを照らし出す希望の灯火を掲げる人がいれば、みんなが幸せになります。希望を見せてくれる人がいれば、今よりもっとよい環境、よりよい社会をつくりあげることができます。

それでは、どうすれば、「希望をもって生きる人」になれるのでしょうか。マザー・テレサは晩年、絶望への誘惑と闘う中で、それでも自らの最良のものを他者に与えようと努めました。マザー・テレサは祈りました。「人は不合理、非論理的、利己的です。気にすることなく、人を愛しなさい。あなたが善を行うと、利己的な目的でそれをしたと言われるでしょう。気にすることなく、善を行いなさい。目的を達成しようとするとき、邪魔をする人に出会うでしょう。気にすることなく、やり遂げなさい。善い行いをしても、おそらく次の日には忘れられるでしょう。気にすることなく、やり続けなさい。あなたの正直さと誠実さが、あなたを傷つけるでしょう。気にすることなく、正直で誠実であり続けなさい。あなたがつくりあげたものが、壊される

でしょう。気にすることなく、つくり続けなさい。助けた相手から、恩知らずの仕打ちを受けるでしょう。気にすることなく、助け続けなさい。あなたの中の最良のものをこの世界に与えなさい。蹴り返されるかもしれません。気にすることなく、最良のものをこの世界に与え続けなさい」。

国際修道会をバックに世界五大陸を結ぶネットワークをもつ白百合は、キリスト教を世界宗教に発展させた国際人の先駆け、使徒聖パウロの精神を受け継いでいます。パウロの人生は多難でしたが、悪に悪を返すことなく、負の連鎖を断ち切って自らの壁を破り、善きことを「信じる・愛する・希望する」生き方を貫いて、最後には輝かしい栄冠と大いなる祝福を授けられました。そうした体験に基づいて、パウロは新約聖書に記しました。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」。苦しみによって人の痛みがわかる人間になり、苦しみに耐えて、人は練り上げられます。その人が「希望をもって生きる人」になります。

人類未曾有の逆境の中で大学生活を送る学生の皆様は、理不尽にも思える制約のもと、非常に苦労されましたが、その苦しみを補って余りある幸せがこの先、皆様を待っていると確信いたします。なぜなら、試験は神が授けるお恵みの前兆であると聖書は教えるからです。どうぞ神様が一人ひとりのために用意している、とっておきの明るい未来を信じて、喜びに満ちた平和な新年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

2022年11月17日、学生4名が参集して大本学部長と懇談する機会を得ました。
出席したメンバーは次のとおりです。

学部長 大本 泉

人間発達学科2年 佐々木悠嘉

(出身校：仙台白百合学園高校)

心理福祉学科2年 柳村 安美

(出身校：北上翔南高等学校)

健康栄養学科3年 五十嵐未羽

(出身校：福島成蹊高等学校)

グローバル・スタディーズ学科3年 大山 冨

(出身校：福島西高等学校)

大学広報室長 結城 裕也

結城先生 皆さん、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

本日は「学部長と語ろう 仙台白百合女子大学で学ぶということ」というテーマで、学部長の大本先生と4学科の学生の皆さんとの座談会を企画しました。今後、本学を今まで以上に良くしていくために、皆さんが仙台白百合女子大学についてどのような考えを持ち、何を期待しているのかなど、ざつとばらんにご意見を伺いたいと思いますのでよろしくお願ひします。

早速ですがまず一つ目の質問です。皆さんは、入学する前はどのようなイメージを持っていましたか？



佐々木さん 私は仙台白百合学園高校出身なのですが、仙台白百合女子大学は少人数教育で一人ひとりに向き合ってくれる、資格を取るためのサポートが充実していることなど、担任の先生から伺っていました。そのため、とても先生方が真剣に向き合ってくれるイメージを持っていましたね。実際に入学してみたらイメージ通りでした。私は初等教育コースに所属しているのですが、授業内容も個人に合わせてアレンジしてくれて、少しでもつまずくことがあればいつでも助けてくれるのがとても心強く感じています。



柳村さん 私も学生に対しては、おしとやかで大人っぽい女性がいっぱい通っているというイメージがありました。教育に関しても、少人数教育を重視している学校というイメージを持っていました。実際に入学してみると、おしとやかで大人っぽい女性の人もいますが、ギャグを言ったり、一緒にいられる顔をして笑いあえる友人がいたり、毎日いろいろな個性を持った人と話せて楽しいです。教育に関しては、やはり入学前のイメージと変わらず、少人数教育を重視しているのがよくあります。



結城先生 教員として嬉しいことばをありがとうございます。五十嵐さんはいかがでしょう。

五十嵐さん 私は今福島県から通っているのですが、宮城の大学のことが何も分からず、担任の先生から仙台白百合大学を紹介されました。その後、入試までに大学案内やSNSの情報を調べていくうちに、お嬢様大学のイメージを持つようになりました。自分はお嬢様というタイプではなかったのですが不安もありました。

学習面については皆さんが言っているとおり、少人数教育を実践していて先生方の近くで学べることに魅力を感じました。入学後は、このお嬢様大学というイメージがガラッと変わったというのではなく、友達とも気軽に話せるし、硬い感じのイメージがなくなり、過ごしやすいなと思うようになりました。先生にいつまでも質問できる環境にあり、進路、進路相談もしやすいのもいいなと感じています。

大山さん 私は福島県の出身で、本学は大学進学相談会でもらったパンフレットで知りました。東京の白百合女子大学の姉妹校であるということと、東北地方で唯一の四年制カトリック系女子大学ということで、やはりお嬢様大学というイメージが強かったです。入学してから180度変わり、明るくて元気な子が多いなと



感じました。学習面に関しては他の皆さんも仰っていたとおり、少人数指導ゆえに勉強で躓いたときや就職の面で悩みが生じたときにすぐ相談できるので、自分にぴったりの大学だなと思っています。

結城先生 ありがとうございます。大本先生、4人の方々の話を聞いてどのような感想をお持ちになりましたか？

大本先生 本学に対してとても良い印象を持っていただき、ありがとうございます。

入学前はお嬢様大学のイメージがあったけれども、入学後は違うイメージを持ったという点は、ほとんど皆さん同じだったようです。

お嬢様ということばのイメージには人それぞれあると思います。たとえば、世間知らずで自分の意見がない、あるいは主張しないというマイナスのイメージもあります。が、人としての品位は必要だと思います。在学中も品位を保ち、いざとなれば自分の意見が述べられるような女性にお互いなりたいたいです。

少人数の教育については、本当に皆さんの感想のとおりだと思います。アドバイザによって全員の前と名前を覚えていて、学生が授業を欠席した際には「どうしたんだろう」と心配する教員も多くなります。



それが煩わしいと思われるかもしれませんが、でも逆に、勉強でも日常生活でも先生に相談したい、頼りたいと思うときはどんな話してくれれば、小規模大学としてのメリットを活かせるのではないかと思います。

結城先生

ありがとうございます。私も同

意見です。
続きまして2つ目の話題です。皆さんはどのような将来の目標や夢をお持ちですか。

五十嵐さん 私は健康栄養学科で管理栄養士になることを最終的な目標にしています。ゼミの先輩方のお話をとおして、大学院への進学にも興味を持っています。大学院では、大学で学んだ栄養の知識にプラスして新たな知識を蓄えていきたいです。また、小さい子供が好きなので、栄養教諭として、栄養について子どもに教えたい気持ちもあります。最終的な目標として、栄養の知識を多くの人に知ってもらえるように発信できる人になりたいと思っています。

柳村さん 私は社会福祉士の資格を取って、生活課題を抱える人を支える人になりたいと思っています。特に、子供と家族の支援に関心を持っています。貧困、不登校、いじめ、虐待の問題などの生活課題を抱えていてもSOSを出せずにいる子供を見捨てずに、その家族も支えていけるような社会福祉士になりたいと思っています。

大山さん 私はまだ将来就きたい職業がはっきりしていませんが、この大学で学んだことや、身につけた能力を存分に発揮できる環境に身を置きたいと考えています。当初は留学を希望していたのですが、コロナウィルス等の関係で断念せざるを得なかったので、ゆくゆくは海外に行きたいと思っています。

佐々木さん 私は最終目標を小学校教諭にしています。その中で教職支援室などにも通いながら、週1回小学校に通わせてもらっています。普通学級の中でも「気になる子」といわれる児童がいたりするので、発達に関する勉強や特別支援系の勉強も自分でやりながら、普通学級だけの理解ではなく特別支援の面からでも理解のある教員になりたいなと思っています。

結城先生 素晴らしいですね。今皆さんの夢や目標を聞かせていただいたのですが、大本先生、どのような感想をお持ちになりましたか。

大本先生 皆さんが素晴らしい夢と目標を持つていらつしやるのがわかりました。本学は女子大学なのでジェンダーバイアスや余計な雑音もなく学ぶことができると思いますので、是非目標に向かって頑張ってくださいと思います。応援しますね。そして、まだ将来の目標が定まっていなくても心配する必要はないですよ。私自身、女性ばかりの環境にありましたが、周りを見てみると、修正すべきだと決意すると、女性の方がしなやかに人生の方向転換をすることができるようになります。思い立ったときがスタートですから、在学中になんでもチャレンジしていただきたいと思っています。

結城先生 ありがとうございます。皆さんに最後の質問です。本学がもつと良くなっている点には、どのようなことが必要だと思っていますか。

大山さん 個人的に気になっていることとして、学生のメンタルヘルスのサポートをもう少し手厚くした方がよいと感じました。私の周りには、学校にあまり来られない人が何人かいます。本学は明るい学生が多い反面、おとなしくて自己主張が苦手な学生もいるように見受けられるので、アドバイザー、ゼミ、保健室、カウンセラーの先生でも誰でもいいので、気軽に相談できる環境をもつと整えた方がよいのかなと思います。

佐々木さん 私自身、通学でバスを利用しているのですが、大学のバスの本数が少なくなつて不便を感じています。本学の学生で宮城交通バスが一杯になつて、一般利用者の方が乗り切れないことがあり、迷惑を掛けている部分もあると思います。ですから、スクールバスの本数を増やしたり、泉

中央駅ではなく仙台駅前までのバスがあったりすればもつと大学に通いやすくなると思っています。

五十嵐さん 本学は情報を発信する力が少し弱いと感じています。学内には学生向けのイベント情報などの掲示物が貼られていますが、自分から積極的に情報を得ようという限り、なかなか情報が手に入りづらいと思います。興味のない人でも「あ！こういうイベントがあるんだ。じゃあ行ってみようかな」と前向きな気持ちになるような発信の仕方があるのかなと思います。

柳村さん 私は、授業がないときの空き教室が有効活用されるように、教室の使用、空室状況が簡単にわかるサイトなどがあるというのと思いました。実際、資格取得を目指す仲間と集まって話し合ったりすることがあるので、そのときに使える教室があるのととても助かります。

結城先生 良いご意見ですね。ありがとうございます。今のいろいろな出た意見に対していかかですか、大本先生。

大本先生 具体的なご指摘があつてとても参考になりました。我々も襟を正して前向きに検討していく必要がありますね。

大山さんのご意見の、学生支援についてなんですが、現在、来年度に向けて充実させようと部署も含めて検討しているところですので、ご期待ください。

佐々木さん ご意見の、バスの本数や行き先を増やしてほしいとのご意見ですが、現在学長とも相談しているところです。本学のスクールバスの本数は宮交バスの本数との兼ね合いもあつて難しい部分もありますが、やはり検討すべき課題だと思っています。

五十嵐さんの情報発信のさらなる工夫をするべきだというご意見は、本当にその通りだと思っています。学生の皆さんからも、効果的な方法について何か教えてくれませんか。

か。情報をうまく学生の皆さんに周知できる方法等、ご意見を参考にしつつ対外的な面も大学広報室長と検討していきますね。

また、柳村さんの空き教室の活用に関してですが、実は去年から図書館の中の一階で、飲食をしながらお話ができる場所ができたのですが、コロナ禍もあり、あまり皆さんには周知されていないようです。ご活用ください。空き教室の利用ですが、現在は学生のみなんですがインターネット上で確認できるシステムはありません。ただ、授業で使用していない教室は自由に使用していただいて構いませんので、有効に活用してください。

結城先生 なかなかこうやって率直な意見というのを学生さんからもらう機会がないので、すごく勉強になりました。今後には活かしていけるなと思いました。質問としては以上になりますが、最後に大本先生から学生さん方に何かお伝えしたいことがありますか。

大本先生 本学ではとても良い自然環境の中で勉強したり、友情を育んだり、いろいろな活動ができますので、なりたい自分に向かって邁進してほしいなと思います。

人類学者の山極壽一さんが、ゴリラの研究をとおして、オスよりもメスの方が共感・思いやりが強いとおっしゃっています。ヒトである私たち女性こそそういう良いところを活かしつつ、先ほどお話にありましたように、いざとなれば自分の意見を率直に主張できる人にお互いになつていきたいなと思います。

その意見を生み出す知識や意見を伝えるコミュニケーションの方法等、本学の授業でたくさん学んでください。教職員一同、皆さんが一層輝くように努力していきます。

結城先生 ありがとうございます。

一同 ありがとうございます。

白百合祭報告

白百合祭実行委員会 委員長

齋藤 ひな

(出身校：鶴岡東高等学校)



10月22日に

3年ぶり第55

回白百合祭が

開催されまし

た。1日のみ

の開催ではあ

りました。たくさんのお客様にご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

今年度の白百合祭は、抽選会や中庭企画、スペシャルお笑いライブ&トークショーを行いました。本学生とご来場の皆様と共に楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと感じております。

自分自身、白百合祭を経験したことがなく実行委員長という大役を務めることができたのか不安と心配でいっぱいでしたが、素晴らしい仲間や教職員の方に支えていただき無事終えることができました。

最後ではございますが、白百合祭にご尽力いただきました企業の皆様や地域の皆様、大学関係者の皆様にご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。



白百合祭実行委員会 副委員長

櫻井 真涼

(出身校：聖和学園高等学校)



コロナ禍の

影響により3

年ぶりの開催

となった第55

回白百合祭

は、大盛況の

うちに無事終えることができました。今年は1日のみの開催でしたが782名と非常に多くの方々にご来場をいただきました。

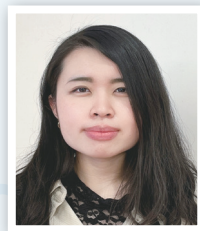
今年の白百合祭実行委員は前例の白百合祭を体験しておらず、そのため分からないことが多く当日まで沢山の話し合いを重ねてまいりました。話し合いを行い1つのことが決定してもまた新たに問題が生まれてしまう...という繰り返しでも大変でした。しかし、仲間や学校関係者の皆様のご協力もあり白百合祭実行委員副委員長として無事務めることができました。そして今までに経験したことがないことも沢山学ばせていただきました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。



白百合祭実行委員会 副委員長

奈良岡 愛梨

(出身校：八戸工業高等専門学校)



私たち実行

委員は前例を

目にしたこと

がない等、い

わば0からの

スタートでし

た。過去の資料や教職員の経験等を頼りに、なんとか形を作り上げていきましたが、慣れない企画運営や、仕事量の多さ、上に立つということの難しさに途中で投げ出したくなるのが、何度もありました。

しかし、私の周りには前向きな委員長と、優しくフォローしてくれるもう一人の副委員長、それに私の話を聞いて、一緒に考えてくれた仲間や教職員の方がたくさんいました。そのおかげで投げ出さずに最後まで仕事をするこ

とが出来たと思っています。1つの目標に向けて多くの人と協力し合い、作り上げていくことは非常に難しいことでしたが、白百合祭当日のみなさんの笑顔を見た時、半年間頑張ったよかったと思えました。きっと私はこの約半年間の経験を一生忘れないと思います。



Reproduction ~ 再生 ~



半年間のヴィクトリア大学の留学を終えて

グローバル・スタディーズ学科3年

横尾 華伶

(出身校：仙台白百合学園高等学校)

私は2022年4月2日から9月3日までの半年間、カナダ・ヴィクトリア大学に留学していました。

授業形態としては、必ず授業はじめに昨日の出来ごとまたは、先生が与えてくれたテーマについてディスカッションしました。例えば現代社会問題になっているLGBTQ、コロナ禍でのオンライン授業と対面授業のメリットデメリットについてなど、様々なテーマで話し合うことができました。また、参加型の授業のため一つひとつの授業で新しい学びが沢山ありました。

また、ヴィクトリア大学では、年齢等関係なくさまざまな国籍の方が通っていました。例えば、メキシコ人、コロンビア人、イラン人、ケベック人、ウクライナ人、韓国人などです。また毎日食事を共に英語力向上の原点となったホストファミリーとの素敵な出会いにより、人と関わる積極性、授業姿勢、リスニング力、スピーキング力、語彙力の向上を感じることが出来ました。

最後に、この留学経験を通して、ただ楽しいということだけではなく、さまざまな出会いがあり、言葉の壁もありましたが、貴重な経験ができたとともに新しい言葉を覚える楽しさを実感しています。現時点での私の将来の目標として常に新しい出会いと毎日が新しい言葉との出会いである通訳者になりたいという挑戦するという気持ちを持つことが出来ました。



開南大学オンライン留学体験談

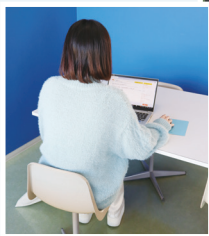
グローバル・スタディーズ学科3年

小松 凜華

(出身校：会津高等学校)

8月15日から26日の10日間、開南大学のオンライン留学に参加しました。私は、初中級のクラスでした。20名に満たないクラスでしたが、既に中国語のレベルが高い学生が多く、不安な気持ちから始まりました。しかし、邱麗璇先生のサポートのおかげもあり、充実した時間となりました。また、学生同士の雰囲気良かったです。さらに良い刺激を受けながら学ぶことができました。

授業は全て中国語で行われ、スピーキングを重視した授業でした。中国語は特に声調が難しいと感じていましたが、徹底的に指導をしていただき、文化を感じられ、興味深かったです。10日間という短い時間でしたが、自分自身の4技能を成長でき、さらに学びを深めたいと感じました。



留学報告

グローバル・スタディーズ学科4年

沼田 美結

(出身校：仙台高等学校)

私はカリフォルニア大学リバーサイド校に半年間留学していました。本校とは別のエクステンションに通っていて、前期は30人程度、後期は15人程度の人数でした。様々な国籍の学生がいて、授業中はもちろん、休みの日に一緒に出かけたりするなど、英語を使う機会を積極的に増やしました。今まで興味を持ったことのなかった国の文化や習慣にも触れることができ、新しい経験となりました。放課後は本校のダンスサークルや、日本語サークルに参加していました。日本が好きな皆さんと交流することにより、互いの文化を共有し合う時間もできてとても充実した時間を過ごすことができました。今回は半年だけでしたが、語学力以上に人間的に成長できたので自分自身にとっても良い経験となりました。



留学報告

グローバル・スタディーズ学科2年

堀 日向子

(出身校：N高等学校)

私は、今年の2月から9月の7か月の間、韓国ソウルの誠信女子大学に留学をしました。コロナの流行がピークだったこともあり、最初の2週間は、隔離施設で過ごし、学校が始まってから最初の1か月間はオンライン授業だったため、生活面や友達ができるのが不安な日々を過ごしました。対面授業が始まってからは、クラスメイトと顔を合わせるようになり、会話もたくさんするようになったので、その頃から韓国語の上達も急激に伸びていったように感じました。また、アジア各国、フランスやアメリカなど日本人以外の留学生とも仲良くなり、それらの国の文化を知る大きな刺激になりました。学校の授業は毎日9時から午後までであり、きついと思う日も時々ありましたが、友達ができただけで乗り越えることができました。毎日の韓国語の授業と日常での韓国語の会話の成果で、確かな韓国語の実力がついたと思います。

今回の留学で、韓国語や韓国の文化はもちろんですが、様々な国の文化を知ったり、自分自身のコミュニケーション能力や自主性を鍛えたりできた貴重な体験でした。短い期間でしたが、韓国語や文化もすっかり学べ、大きく成長できた半年間で、とても行ってきたと思う留学でした。



日本カトリック教育学会 46回大会報告

大会実行委員長 牛渡淳

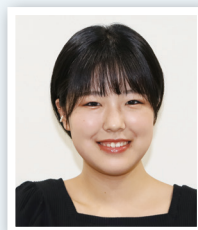
8月26日から8月28日まで三日間、日本カトリック教育学会第46回大会が、本学で開催された。テーマは「新しい展望に立つカトリック教育―災害の経験から『希望の教育』へ―」とした。仙台をはじめ宮城には、キリシタンの苦難の歴史があり、2011年には、あの東日本大震災に見舞われた。そして、今、新型コロナウイルスによる未曾有の災禍を経験している。こうした苦難の歴史を経てきた仙台の地で、改めて、カトリックの精神に立ち戻り、カトリック教育の意義を問い直し、新たな展望に立つカトリック教育のあり方を探ってみたいと考えたからである。カトリック学校、カトリック大学は、この相次ぐ苦難の時代をどう捉え、どのようにして乗り越えてきたのか。この経験を基に、ポストコロナの新しい時代に向けて、カトリック教育の新しい姿をどう構想し、実現すべきなのか。私たちが向かう先にある新たな「希望の教育」について考えたいという趣旨であった。

当日は、東京大学名誉教授の黒住眞先生による基調講演「カトリック祭祀（典礼）がもつ希望の意義―日本の危機の祈りと瞑想―」をはじめ、ラウンドテーブル、自由研究発表、シンポジウムが行われた。シンポジウムは、大会テーマと同じテーマの下、白百合女子大学教授釘宮明美氏、上智大学教授武田なほみ氏、仙台使徒園長土倉相氏の三人による報告とディスカッションが行われた。本大会は、オンラインと対面を同時に行うハイブリッド方式で行ったが、会員以外の全国のカトリック学校関係者やフランス在住の研究者がオンラインで参加しており、オンラインでの実施が学会の新たな可能性を切り開いたように思われる。

オペレッタ「白雪姫」

人間発達学科4年 中澤美結

(出身校：東北学院榴ヶ岡高等学校)



7月22日にオペレッタ「白雪姫」を行ないました。本番に向けて台本や衣装、効果音や小道具などを一から作ることは容易ではなく、困難に感じることや悩むこともありましたが、より良い作品にするために話し合いを重ね、試行錯誤を繰り返すことで良い作品を作り上げることができたのだと思います。本番当日は私も含め緊張している学生の姿も見られましたが、これまで準備してきたことを存分に発揮することができました。またご観劇いただいた方々が参加して楽しんでいる姿を見て非常に嬉しく思いました。

オペレッタを制作する中で、私たちは様々な学びを得られました。現場に出た際に今回得られた学びを活かすことができるよう、これからも励んでいきたいです。



Kids Campus 報告

健康栄養学科 学科長 大久保剛

7月23日にKids Campus ①親子でLet's Enjoy Cooking「キラキラたなばたパフェ」を作ろう！②食育紙芝居を見ながらレインボー綿あめを食べよう！という2つの企画を行いました。事前に近隣の小学校や保育園のご協力でチラシの配布をさせて頂いたおかげで、子どもたちと父母の皆さん併せて25組50名以上の参加者がありました。予想を超える申し込みに、嬉しい悲鳴でしたが、コロナ対策として感染予防の観点から万全を期すために急遽2グループに分けて、開始時刻をずらしての開催となりました。子どもたちも外部に出て、人が集まるイベント参加が久しぶりだったのか大変に楽しみにしていたようで、明るい笑顔と楽しいおしゃべりに溢れていました。サポートに入った学生ボランティアの皆さんも子どもたちとの触れ合いを通して、元気をもらっていました。また、以前から本学の子ども達もいて、「ここ（構内）にやつと入れた！」と喜ぶ声もありました。こんな反響を目の当たりにすると、近隣の子どもたちとの交流の機会を増やしていく重要性を感じ、我々も大変勉強になりました。また、新企画を用意してKids Campusを開催したいと思っています。



資金収支計算書				令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位 円)			
収入の部							
科 目	予 算	決 算	差 異				
学生生徒等納付金収入	1,063,902,900	1,067,232,900	△ 3,330,000				
手数料収入	13,000,000	11,354,900	1,645,100				
寄付金収入	7,950,000	8,590,000	△ 640,000				
補助金収入	240,500,000	232,228,933	8,271,067				
国庫補助金収入	240,000,000	231,717,600	8,282,400				
地方公共団体補助金収入	500,000	511,333	△ 11,333				
その他補助金収入	0	0	0				
資産売却収入	0	0	0				
付随事業・収益事業収入	8,845,000	9,868,000	△ 1,023,000				
受取利息・配当金収入	5,000,000	5,005,808	△ 5,808				
雑収入	38,200,000	41,289,106	△ 3,089,106				
借入金等収入	0	0	0				
前受金収入	168,455,000	149,985,000	18,470,000				
その他の収入	201,644,262	206,488,028	△ 4,843,766				
資金収入調整勘定	△ 228,105,000	△ 227,328,040	△ 776,960				
前年度繰越支払資金	215,501,270	215,501,270					
収入の部合計	1,734,893,432	1,720,215,905	14,677,527				
支出の部							
科 目	予 算	決 算	差 異				
人件費支出	928,400,000	928,276,941	123,059				
教育研究経費支出	278,750,000	261,711,615	17,038,385				
管理経費支出	90,144,000	89,683,491	460,509				
借入金等利息支出	10,589,700	10,589,700	0				
借入金等返済支出	157,760,000	157,760,000	0				
施設関係支出	70,000,000	90,112,886	△ 20,112,886				
設備関係支出	15,500,000	14,437,420	1,062,580				
資産運用支出	0	0	0				
その他の支出	42,355,288	47,291,730	△ 4,936,442				
(予備費)	(3,900,000)						
	6,100,000		6,100,000				
資金支出調整勘定	△ 45,000,000	△ 48,507,317	3,507,317				
翌年度繰越支払資金	180,294,444	168,859,439	11,435,005				
支出の部合計	1,734,893,432	1,720,215,905	14,677,527				
貸借対照表				令和4年3月31日 (単位 円)			
資産の部							
科 目	本年度末	前年度末	増 減				
固定資産	3,481,446,300	3,711,026,161	△ 229,579,861				
有形固定資産	3,030,323,880	3,109,863,741	△ 79,539,861				
土地	41,666,199	41,666,199	0				
建物	2,377,414,931	2,429,002,865	△ 51,587,934				
構築物	7,902,928	14,652,670	△ 6,749,742				
教育研究用機器備品	177,224,709	198,741,780	△ 21,517,071				
管理用機器備品	7,160,485	7,835,958	△ 675,473				
図書	417,358,414	415,717,685	1,640,729				
車両	1,596,214	2,246,584	△ 650,370				
建設仮勘定	0	0	0				
特定資産	450,000,000	600,000,000	△ 150,000,000				
減価償却引当特定資産	50,000,000	200,000,000	△ 150,000,000				
退職給付引当特定資産	400,000,000	400,000,000	0				
第3号基金引当特定資産	0	0	0				
その他の引当特定資産	0	0	0				
その他の固定資産	1,122,420	1,162,420	△ 40,000				
著作権	0	0	0				
その他の固定資産	1,122,420	1,162,420	△ 40,000				
流動資産	254,904,832	290,125,782	△ 35,220,950				
現金預金	168,859,439	215,501,270	△ 46,641,831				
未収入金	68,623,040	51,604,262	17,018,778				
その他の流動資産	17,422,353	23,020,250	△ 5,597,897				
資産の部合計	3,736,351,132	4,001,151,943	△ 264,800,811				
負債の部							
科 目	本年度末	前年度末	増 減				
固定負債	1,288,824,488	1,426,386,249	△ 137,561,761				
長期借入金	801,486,820	959,246,820	△ 157,760,000				
退職給付引当金	487,337,668	467,139,429	20,198,239				
その他の固定負債	0	0	0				
流動負債	371,632,146	378,795,690	△ 7,163,544				
短期借入金	157,760,000	157,760,000	0				
前受金	149,985,000	158,705,000	△ 8,720,000				
その他の流動負債	63,887,146	62,330,690	1,556,456				
負債の部合計	1,660,456,634	1,805,181,939	△ 144,725,305				
純資産の部							
科 目	本年度末	前年度末	増 減				
基本金	7,700,165,220	7,549,250,471	150,914,749				
第1号基本金	7,609,165,220	7,458,250,471	150,914,749				
第2号基本金	0	0	0				
第3号基本金	0	0	0				
第4号基本金	91,000,000	91,000,000	0				
繰越収支差額	△ 5,624,270,722	△ 5,353,280,467	△ 270,990,255				
翌年度繰越収支差額	△ 5,624,270,722	△ 5,353,280,467	△ 270,990,255				
純資産の部合計	2,075,894,498	2,195,970,004	△ 120,075,506				
負債及び純資産の部合計	3,736,351,132	4,001,151,943	△ 264,800,811				

事業活動収支計算書				令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位 円)			
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		学生生徒等納付金	1,063,902,900	1,067,232,900	△ 3,330,000		
		手数料	13,000,000	11,354,900	1,645,100		
		寄付金	7,950,000	8,590,000	△ 640,000		
		経常費等補助金	204,500,000	196,166,933	8,333,067		
		国庫補助金収入	204,000,000	195,655,600	8,344,400		
		地方公共団体補助金収入	500,000	511,333	△ 11,333		
		その他補助金収入	0	0	0		
		付随事業収入	8,845,000	9,868,000	△ 1,023,000		
		雑収入	38,200,000	41,289,106	△ 3,089,106		
	教育活動収入計	1,336,397,900	1,334,501,839	1,896,061			
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		人件費	947,220,000	948,475,180	△ 1,255,180		
		教育研究経費	449,350,000	431,834,726	17,515,274		
管理経費		106,374,000	105,890,632	483,368			
徴収不能額等		0	1,095,000	△ 1,095,000			
教育活動支出計		1,502,944,000	1,487,295,538	15,648,462			
教育活動収支差額		△ 166,546,100	△ 152,793,699	△ 13,752,401			
教育活動外収支	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		受取利息・配当金	5,000,000	5,005,808	△ 5,808		
		その他の教育活動外収入	0	0	0		
		教育活動外収入計	5,000,000	5,005,808	△ 5,808		
	事業活動外支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		借入金等利息	10,589,700	10,589,700	0		
		その他の教育活動外支出	0	0	0		
		教育活動外支出計	10,589,700	10,589,700	0		
教育活動外収支差額		△ 5,589,700	△ 5,583,892	△ 5,808			
経常収支差額		△ 172,135,800	△ 158,377,591	△ 13,758,209			
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		資産売却差額	0	0	0		
		その他の特別収入	36,000,000	40,523,085	△ 4,523,085		
		施設設備寄付金	0	0	0		
		現物寄付	0	4,461,085	△ 4,461,085		
		施設設備補助金	36,000,000	36,062,000	△ 62,000		
		特別収入計	36,000,000	40,523,085	△ 4,523,085		
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		資産処分差額	0	2,221,000	△ 2,221,000		
		その他の特別支出	0	0	0		
		特別支出計	0	2,221,000	△ 2,221,000		
		特別収支差額		36,000,000	38,302,085	△ 2,302,085	
				(10,000,000)			
(予備費)		0		0			
基本金組入前当年度収支差額		△ 136,135,800	△ 120,075,506	△ 16,060,294			
基本金組入額合計		△ 180,000,000	△ 150,914,749	△ 29,085,251			
当年度収支差額		△ 316,135,800	△ 270,990,255	△ 45,145,545			
前年度繰越収支差額		△ 5,353,280,467	△ 5,353,280,467	0			
基本金取崩額		0	0	0			
翌年度繰越収支差額		△ 5,669,416,267	△ 5,624,270,722	△ 45,145,545			
(参考)							
事業活動収入計		1,377,397,900	1,380,030,732	△ 2,632,832			
事業活動支出計		1,513,533,700	1,500,106,238	13,427,462			

2023 年度 仙台白百合女子大学 学生募集について

※出願の際は、学生募集要項をご確認ください。

【一般選抜（A日程）】

●出願期間および試験日等

出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
2023 年 1 月 5 日（木）～1 月 23 日（月） 当日消印有効	2 月 5 日（日）	2 月 14 日（火）

●試験科目

＜本学科目および大学入学共通テスト利用科目＞

学科・専攻	教 科	試 験 科 目	
子ども教育学科	国 語	国語総合（ただし古文・漢文を除く）	本学科目必須
	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの内容を含む）	
心理福祉学科	国 語	国語総合（ただし古文・漢文を除く）	本学科目必須
	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの内容を含む）	
健康栄養学科 管理栄養専攻	国 語	国語総合（ただし古文・漢文を除く）	本学科目必須
	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの内容を含む）	
	選択科目	化学基礎・生物基礎	本学科目 大学入学共通テスト利用科目 （基礎系は2科目で1科目分）
	（本学科目または大学入学共通 テスト利用科目から1科目選択）	化学基礎・生物基礎、化学、生物	
グローバル・ スタディーズ学科	国 語	国語総合（ただし古文・漢文を除く）	本学科目必須
	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの内容を含む）	

●試験場 ①本学会場 ②青森会場【ホテル青森】 ③盛岡会場【アートホテル盛岡】 ④秋田会場【秋田県総合保健センター】 ⑤山形会場【ホテルキャッスル】 ⑥郡山会場【郡山商工会議所】
⑦宇都宮会場【ホテルマイステイズ宇都宮】

【一般選抜（B日程）】

●出願期間および試験日等

出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
2023 年 2 月 10 日（金）～2 月 21 日（火） 当日消印有効	3 月 3 日（金）	3 月 9 日（木）

●試験科目

教 科	試 験 科 目
国 語	国語総合（ただし古文・漢文を除く）
外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰの内容を含む）

◆英語外部検定試験の取り扱いについて 一般選抜（A日程・B日程対象）

一般選抜（A日程・B日程）において、英語外部検定試験のスコア票・証明書のコピーを出願時に提出した受験生に対して、本学で実施する外国語（英語）の試験（100点満点）の得点に、英検準1級相当以上は20点、英検2級相当以上は10点を加算します。ただし、加点後の最高点は100点とします。

本学において利用できる英語外部検定試験の級・スコア								
検定名	実用英語 技能検定	TEAP	TEAP CBT	IELTS	ケンブリッジ 英語検定	TOEFL iBT	GTEC CBT	TOEIC（2技能） TOEIC（4技能）
級・ スコア	準1級以上 2級以上	309- 225-	600- 420-	5.5- 4.0-	160- 140-	72- 42-	1190- 960-	785-（2技能）1095-（4技能） 550-（2技能）790-（4技能）

※ TOEIC（2技能）：Listening & Reading / TOEIC（4技能）：Listening, Reading, Writing & Speaking
※ 利用できるのは公式スコアに限ります。
※ 出願する入学者選抜の実施日からさかのぼって3年以内に受験したスコアを有効とします。

【一般選抜（C日程）】

●出願期間および試験日等

出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
2023 年 2 月 24 日（金）～3 月 7 日（火） 当日消印有効	3 月 14 日（火）	3 月 20 日（月）

●選抜方法 ①書類 ②小論文（総合型問題） ③面接

【大学入学共通テスト利用選抜（A日程・B日程・C日程）】

●出願期間および試験日等

	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
A 日程	2023 年 1 月 5 日（木）～1 月 25 日（水） 当日消印有効	大学入学共通テストを受験	2 月 14 日（火）
B 日程	2023 年 2 月 10 日（金）～2 月 21 日（火） 当日消印有効		3 月 9 日（木）
C 日程	2023 年 2 月 24 日（金）～3 月 7 日（火） 当日消印有効		3 月 20 日（月）

●指定教科・科目 ※大学入学共通テスト利用選抜 A 日程・B 日程・C 日程ともに共通です。

学科・専攻	教 科	試 験 科 目	
子ども教育学科	国 語	『国語』（近代以降の文章）	必 須
	外国語	『英語』（リスニングテストを含む）	
	地理歴史	『世界史 A』『世界史 B』『日本史 A』『日本史 B』『地理 A』『地理 B』	4 教科 22 科目より 1 科目選択 （基礎系は 2 科目で 1 科目分）
	公 民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学 A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学 B』	
心理福祉学科	理 科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	必 須
	国 語	『国語』（近代以降の文章）	
	外国語	『英語』（リスニングテストを含む）	5 教科 23 科目より 2 科目選択 （基礎系は 2 科目で 1 科目分）
	地理歴史	『世界史 A』『世界史 B』『日本史 A』『日本史 B』『地理 A』『地理 B』	
	公 民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	
健康栄養学科 管理栄養専攻	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学 A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学 B』	必 須
	理 科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	
	国 語	『国語』（近代以降の文章）	1 科目選択 （基礎系は 2 科目で 1 科目分）
	外国語	『英語』（リスニングテストを含む）	
グローバル・ スタディーズ学科	理 科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	必 須
	国 語	『国語』（近代以降の文章）	
	外国語	『英語』（リスニングテストを含む）	5 教科 25 科目より 2 科目選択 （基礎系は 2 科目で 1 科目分）
	地理歴史	『世界史 A』『世界史 B』『日本史 A』『日本史 B』『地理 A』『地理 B』	
	公 民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学 A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学 B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	
	理 科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	

※配点は各教科とも 100 点満点（200 点の科目は 100 点満点に換算します。） ※選択科目では、本学指定の試験科目のうち高得点の科目（同一教科も可）を合否判定に使用します。

お問い合わせ先 入試広報課 TEL：022-374-5014（直通） E-mail：nyushi@sendai-shirayuri.ac.jp